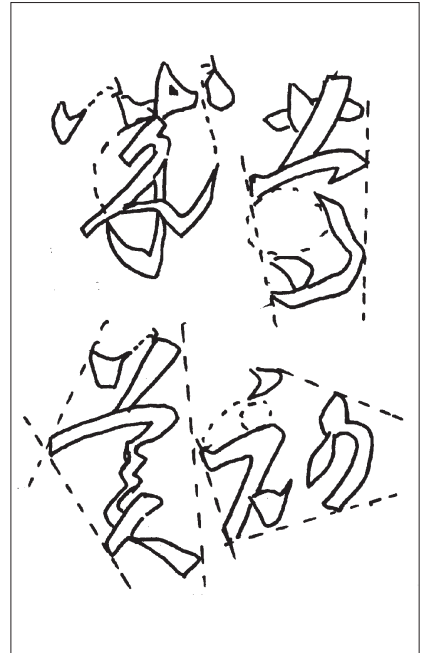


◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料440円

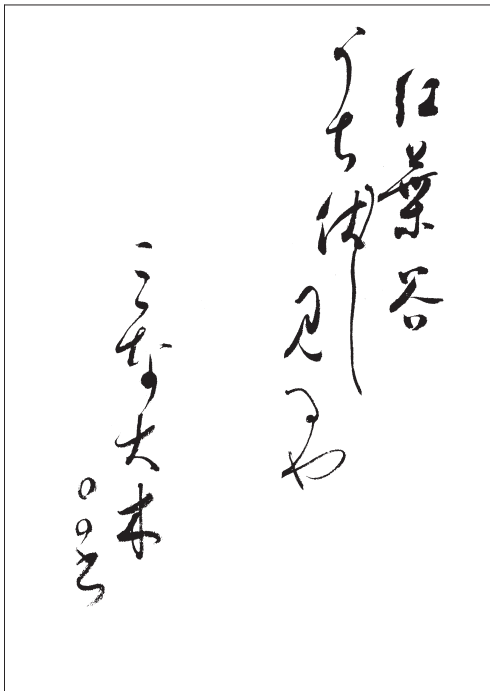


草書千字文・唐 懷素

- 1、字句||篤初誠美
- 2、形式||半紙タテ使用。右に「篤初」、左に「誠美」と臨書し、左余白に「○○臨」と調和を工夫して書き入れる。
- 3、概観||前回は、遅筆による遅筆で細線が多い点を述べたが、遅筆での揺れる線、線の複雑さは、臨書してはじめてわかります。しかし、時に潤筆による太めの書がつづく。一、二字のときもあれば、四、五字のときもある。このような太めの線は、適度な速度で書かれているものが多い。速度には勢いがあり、勢いは力を生む。遅筆細線の中に、速筆太線がまばらに、しかも雑然とまざりあって、字間の広狭や行のうねりを見せる。今回は、この速筆太線について見てみたい。この太線は、筆の上下動(弾力)を遣った遅筆です。
- 4、各字のポイント
  - 篤 上部の三画を接することで余白をなくし、中央の大きな余白を生かしている。横への広がりを抑制した結体となっている。収筆まで押した遅筆。
  - 初 一画目の点は二画目と広く離すことにより偏を高くする。「刀」は背を低くし、外形が「△」の形となる。
  - 誠 言偏は点に省略されている。傍の縦画は長くする。三ヶ所の「…」は意連。最後の点は強めに突いて。
  - 美 頭部を比較的大きく構え、中央の画は横への振りを小さくする。起筆や転折では筆がよく立ち、快い筆速が巧く絡み、歯切れのよい線となる。

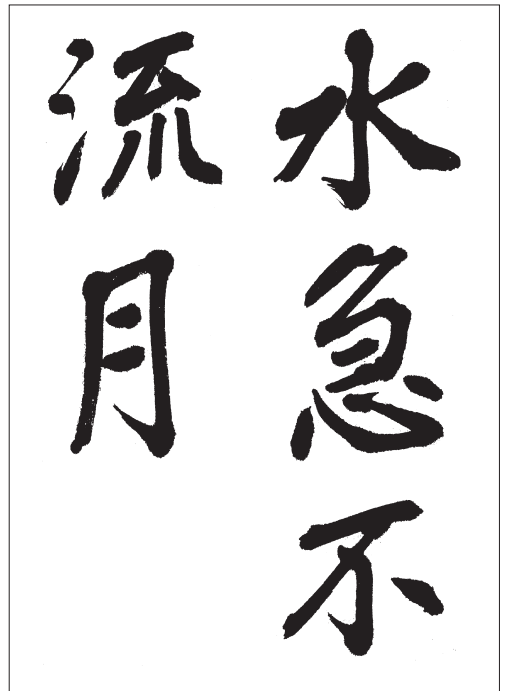
半紙課題(予告)

(十一月二十二日締切)

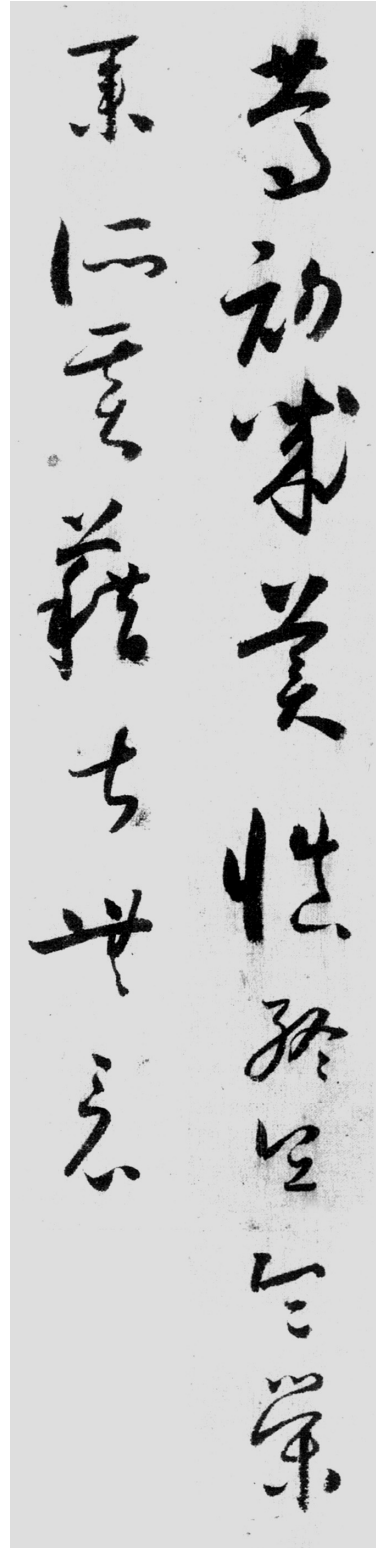


平岡華雪先生書 紅葉谷打伏し見るや皆大木(虚子)

訳：いかにはげしい世風に当たっても本心は寂然不動である。



平岡華雪先生書 水急なるも月を流さず(禅林)



篤初誠美。慎終宜令。采業所基。藉甚無竟。  
初めを篤くするは誠に美し、終りを慎むは宜しく令しかるべし。采業の基とする所、藉甚にして竟わり無し。  
物事の初めに念を入れてするのは、もとより良いことであるが、終りを慎んでこそ、すべてが良いはずである。以上述べたことは偉大な事業の基本となることであり、そうすれば名声は高まって後世まで賞賛されるのである。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粋可。随意部半紙は無料。

条幅部は一枚目無料、二枚目から五五〇円。

バーコード券に「条臨」とご記入下さい。名簿は条幅部で「(臨)」と表示されます。

## 一字書（十月二十二日締切）

課題

# 賢

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に  
一字と記入 段級は無記入

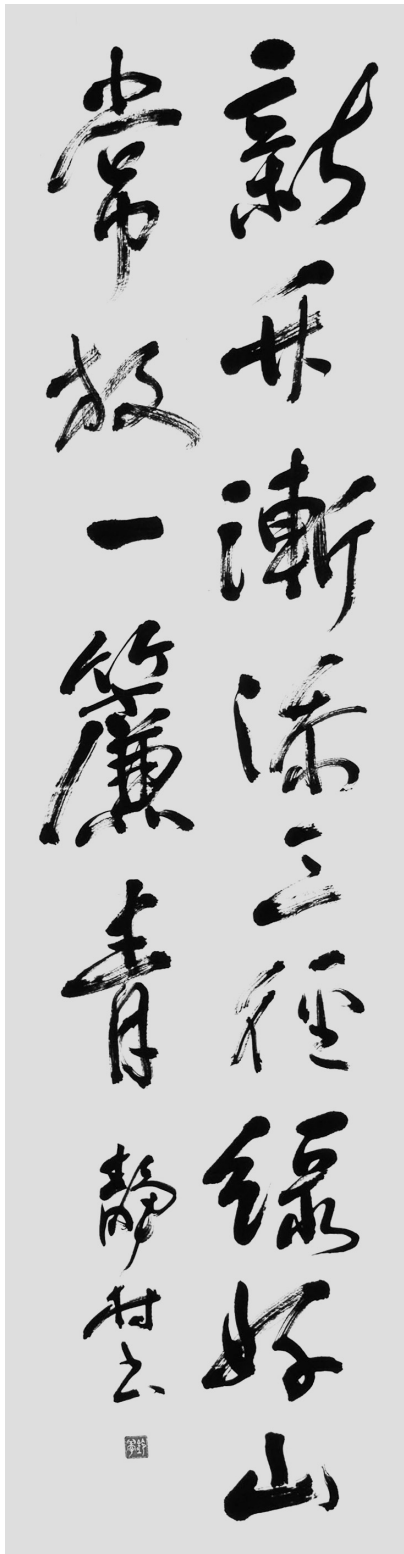
A  
高橋香樹会長書

新竹漸添三徑緑 好山常放一簾青 (何其偉)  
しんちゆうや 新竹漸く添う三徑の緑、こうざん 好山常に放つ一簾の青



B  
鈴木静村先生書

今回は楷書作です。一年に一、二回は楷書で思っているのですが、今回は、今の自分が無理をせず書こうと、久し振りに四号兼毫筆を使用。「斤」の末筆は、軽く押さえる、引き抜く、ハネるとありますが、「新」では軽く押さえ、「漸」ではハネると選択。「簾」は「簾」もあり。



幾分細め。ポイントはず内の脈絡、字々の筆脈。新 旁草書。竹 一画目決め手。漸 旁行書。添三徑 渴筆脈絡。緑 墨継ぎ。好 脈絡も「子」意識。常放 縦横長さ対比。一 墨継ぎ。簾 下辺連火に。青 横画変化。

訳：新竹は次第に長じて三すじのこみちをみどりにし、美しい山は捲き上げる簾に入って青い。

予告 (十一月二十二日締切)

懷君屬秋夜

散步詠涼天

山空松子落

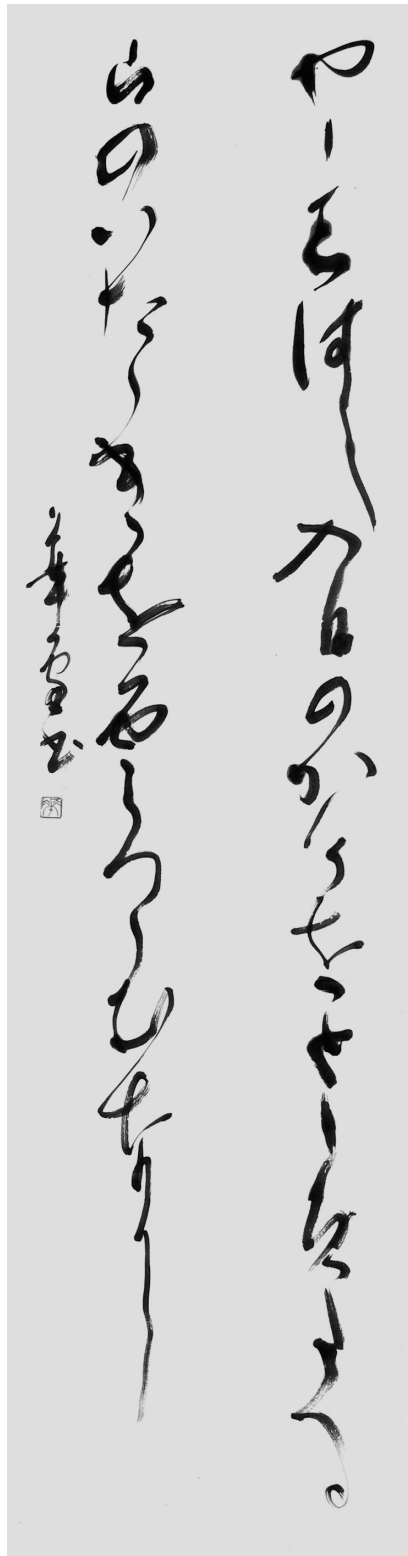
幽人應未眠 (韋應物)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

A

平岡華雪先生書

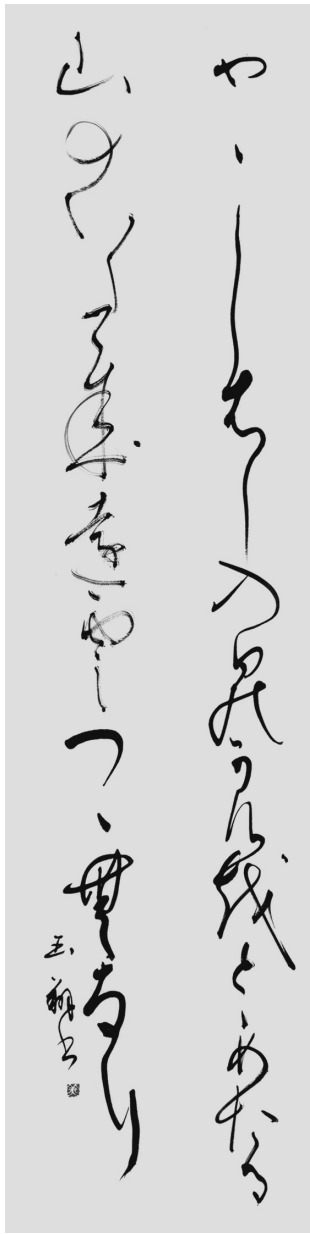
やや暫し入日の影をとどめたる山の頂を雲つつむなり(土田耕平)  
や、志はし入日のか介をと、免多る山のいた、きを雲つ、むなり



B

福田玉翔先生書

や、し者し入日能可介越とどめたる山のい多、来遠雲つ、無奈り



学び方

今月はオーソドックスな半切二行書きにしました。今まで出品されなかった方も是非挑戦してみてください。一般的に半切二行書きは、二行目の後半の中心より少し下で一回墨継ぎをするとまとめ易いと思います。これから半年間半切のオリジナル作品の創作ガイドをしたいと思います。師匠から原寸大の手本をいただく前に、ご自身で試作して本来の創作を楽しんでください。

予告 (十一月二十二日締切)

幾山河越えさりゆかば寂しさのはてなむ国ぞけふも旅ゆく(若山牧水)

土田耕平 清澄繊細は  
写生にもとづく詠風をも  
つ。大正期の『アララギ』  
の代表的な歌人。十一才  
で父と、十八才で母と死  
別。

一九一一年(明44)年、  
下諏訪小学校の教員とな  
り、島木赤彦と出会う。  
翌年『アララギ』に入会、  
十三年上京。東京中学に  
通うかたわら『アララギ』  
の編集に従事する。

『アララギ』一九〇八  
年(明41)年創刊の短歌  
誌。同誌に拠る歌人集団  
を輪郭的にさす。

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条 幅 部 随 意 参 考

福田 香陽 先生 書

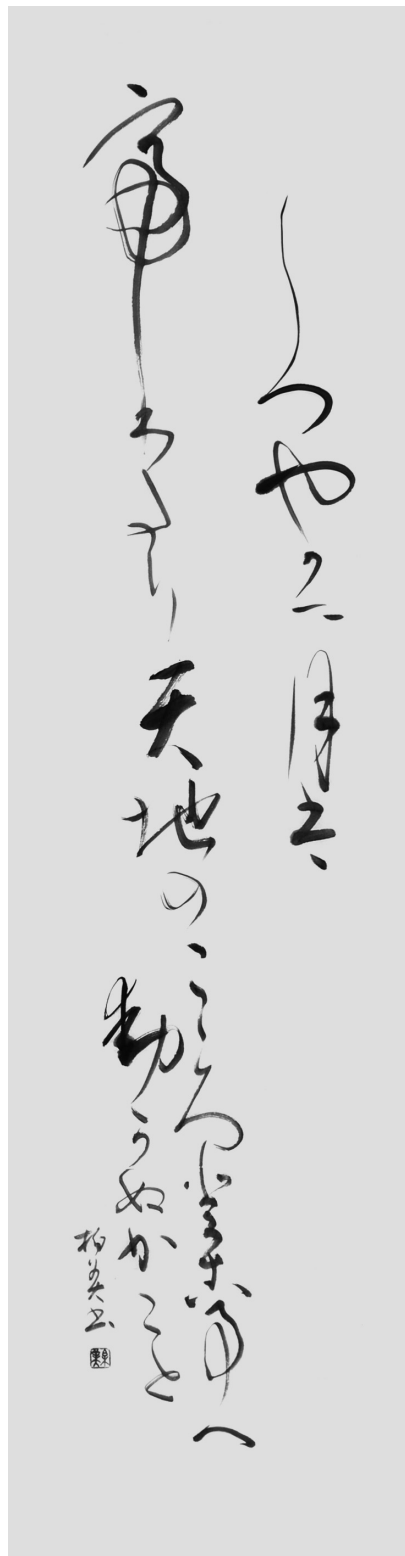
月斜人影忽在水 風過秋聲正滿山 (王荊亭)  
 つきなめ じんえいたちま みず ふうかぜす せうせいまさ やまみ  
 月斜に人影忽ち水に在り、風過ぎて秋声正に山に満つ。



訳：月が斜に入らんとして人の影は水に映じ、風が吹き過ぎては秋声が山に満ちる。

石島 柏美 先生 書

しづやかに月は照りたり天地の心とこしへ動かぬがごと (尾上柴舟)  
 しつやか かに 月は 照り たり 天地の 心とこしへ 動かぬがごと  
 しつやか二月盤亭利多り天地のこゝろ登古事へ動可ぬかこと

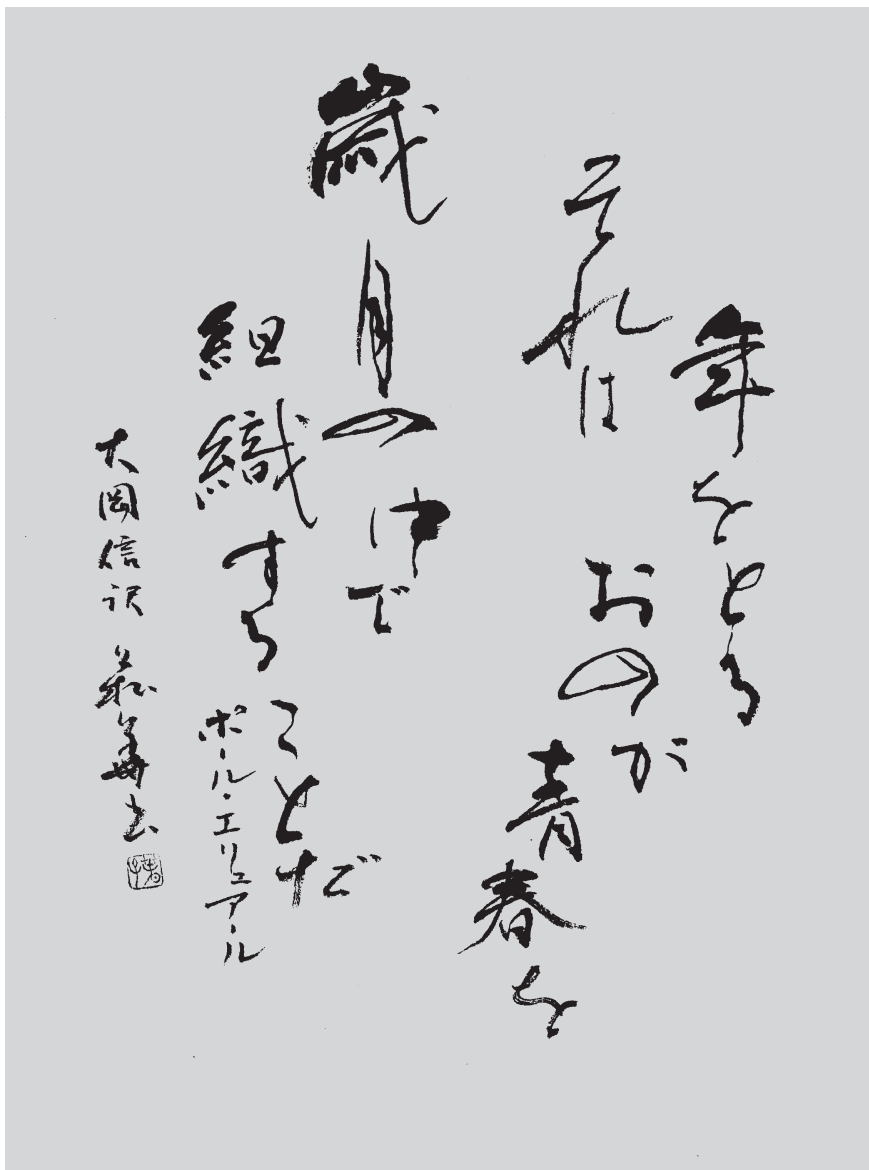


- ◆注 意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条随を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条随を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

小暮 菘華 先生 書

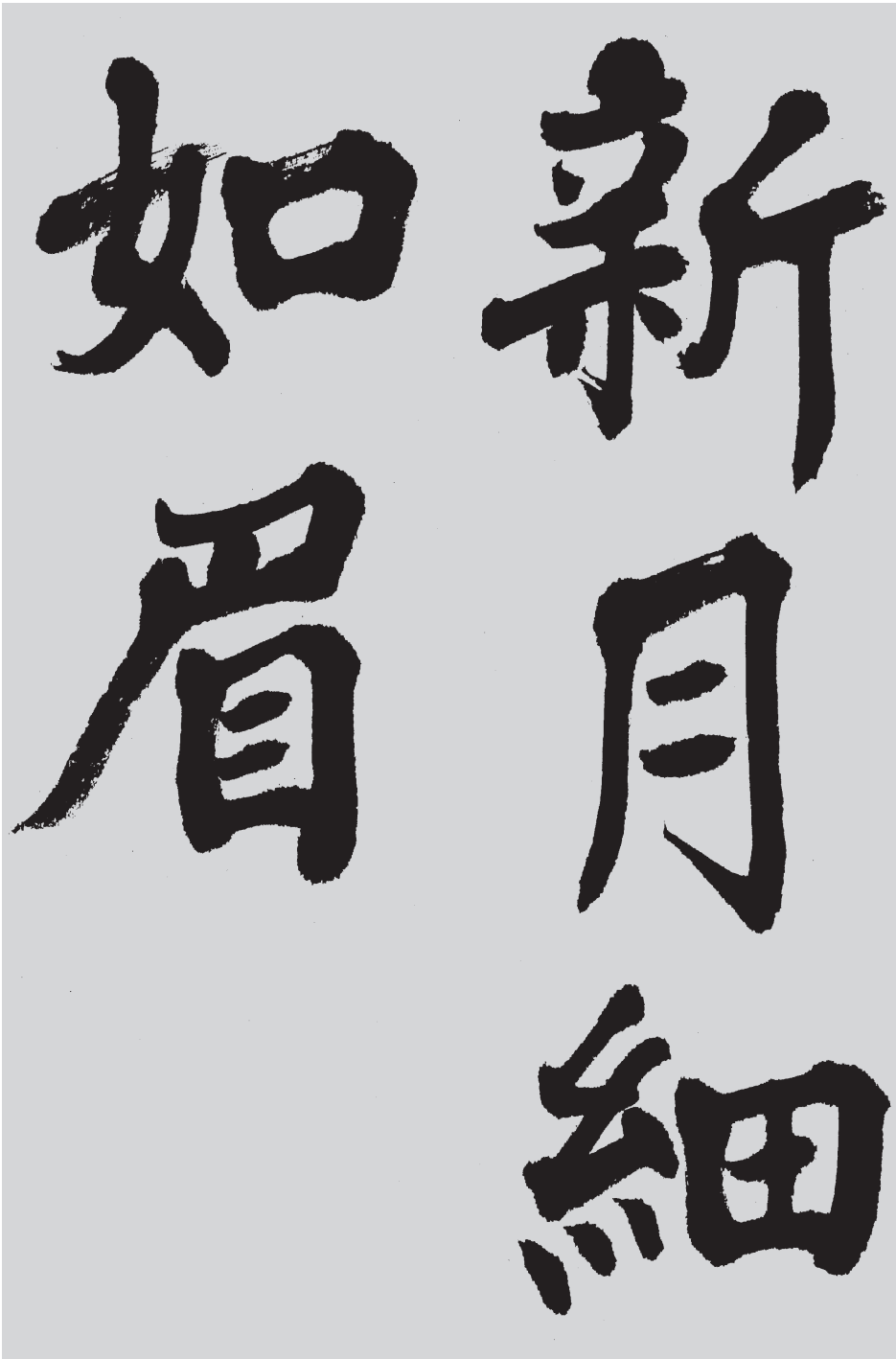
年をとる  
それはおのが青春を  
歲月の中で組織することだ  
ポール・エリュアール  
(大岡信訳)

大岡信著『人生の黄金時間』より引用。含蓄あることばに惹かれました。「いつまでも  
気を若く持って暮らしましょう」という意味合いですが、「年をとる」ことは生物学的な  
年のとり方だけではなく、「青春を組織する」こと、即ち「意志を持って青春を保つ」こ  
とと理解しました。この二行の詩を大きく二つに分け、太細、大小の変化をつけながら、  
可読的に表現しました。「年」「歲月」「青春」「組織」は重要な意味を持つため、大きく、  
太目に、ひらがなも一つ一つ大事に書くように、それぞれ工夫して下さい。



ポール・エリュアール (一八九五〜一九五二) フランスのシュールレアリスムの詩人。  
大岡信 (一九三一〜二〇一七) 日本の詩人、評論家、元東京藝術大学名誉教授。朝日賞、読売文学賞他受賞多数。主な著書、『折々のうた』、『わが詩と真実』、『紀貫之』他多数。  
ポール・エリュアールの訳に感銘を受け翻訳を試みるも挫折。「年をとる」の詩句が好きで大切に保存した。

- ◆注意…はじめて出品される方は私製の紙 (3×4 cm位) に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料550円。  
①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

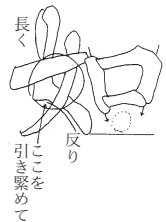


平岡華雪先生書

新月細きこと眉の如し(広瀬青村)  
訳：新月はまるで眉のように細い。

〈引き緊めの形と筆意〉

唐の歐陽詢の文字は、姿勢よく、しかも引き緊まっています。文字にはこのキョットとした引き緊まりが必要です。今月の課題手本は、どの字も引き緊まって、隙がありません。この点に留意して。

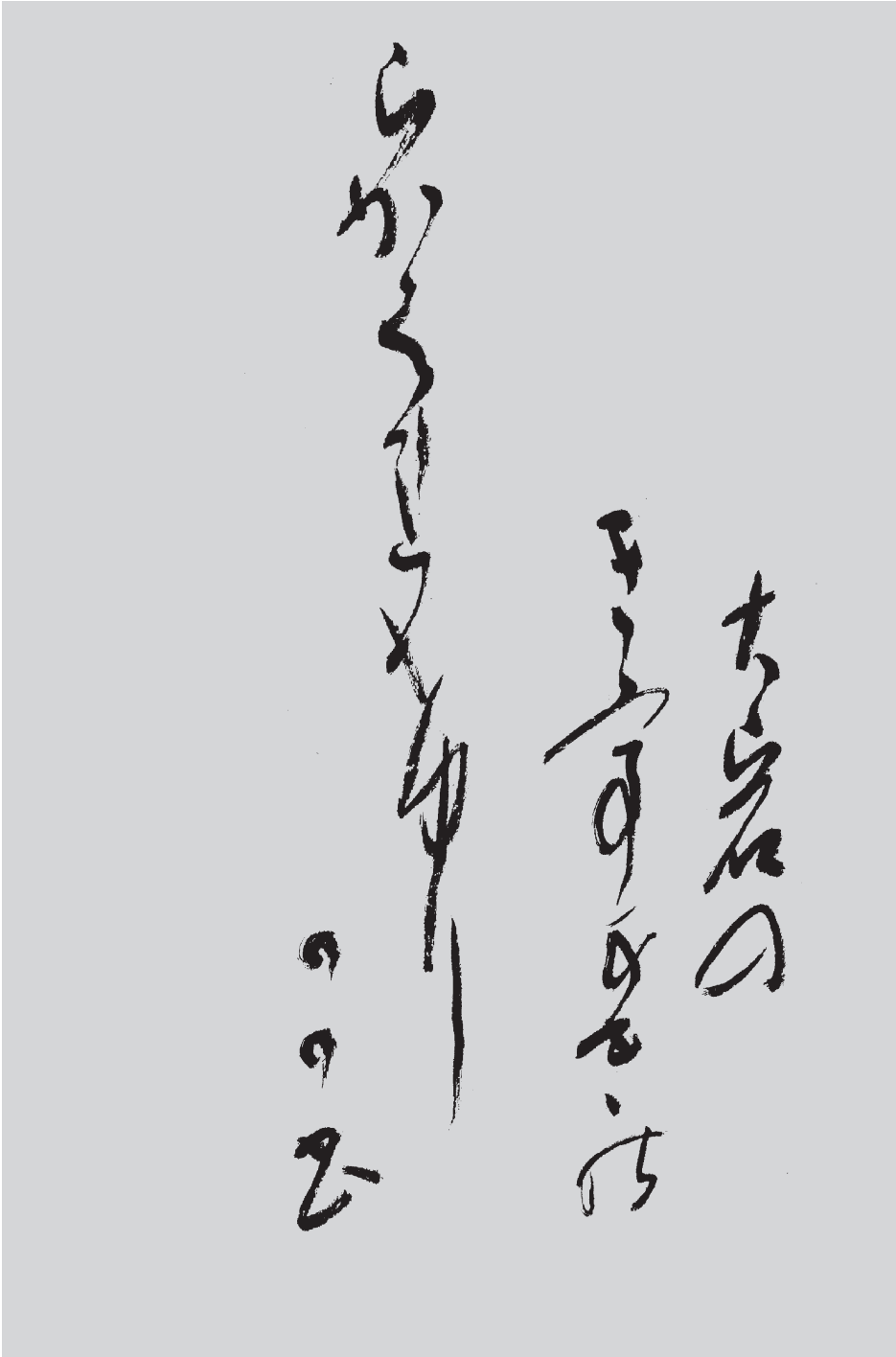


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

大岩の来て秋の山隠れけり (春眠)  
大岩のき亭あき能山か久連希り



華雪先生独創の左辺余白課題。余白との照応において、特に三行目、落款の打ち出しがポイント。ここがこの作の主調、その一つは「墨継ぎ」、大きなウエイトを占めるので、工夫されつつ深めてほしい。なお、落款の位置、筆調も大切。雅印の押印については、より配慮を望みたい。

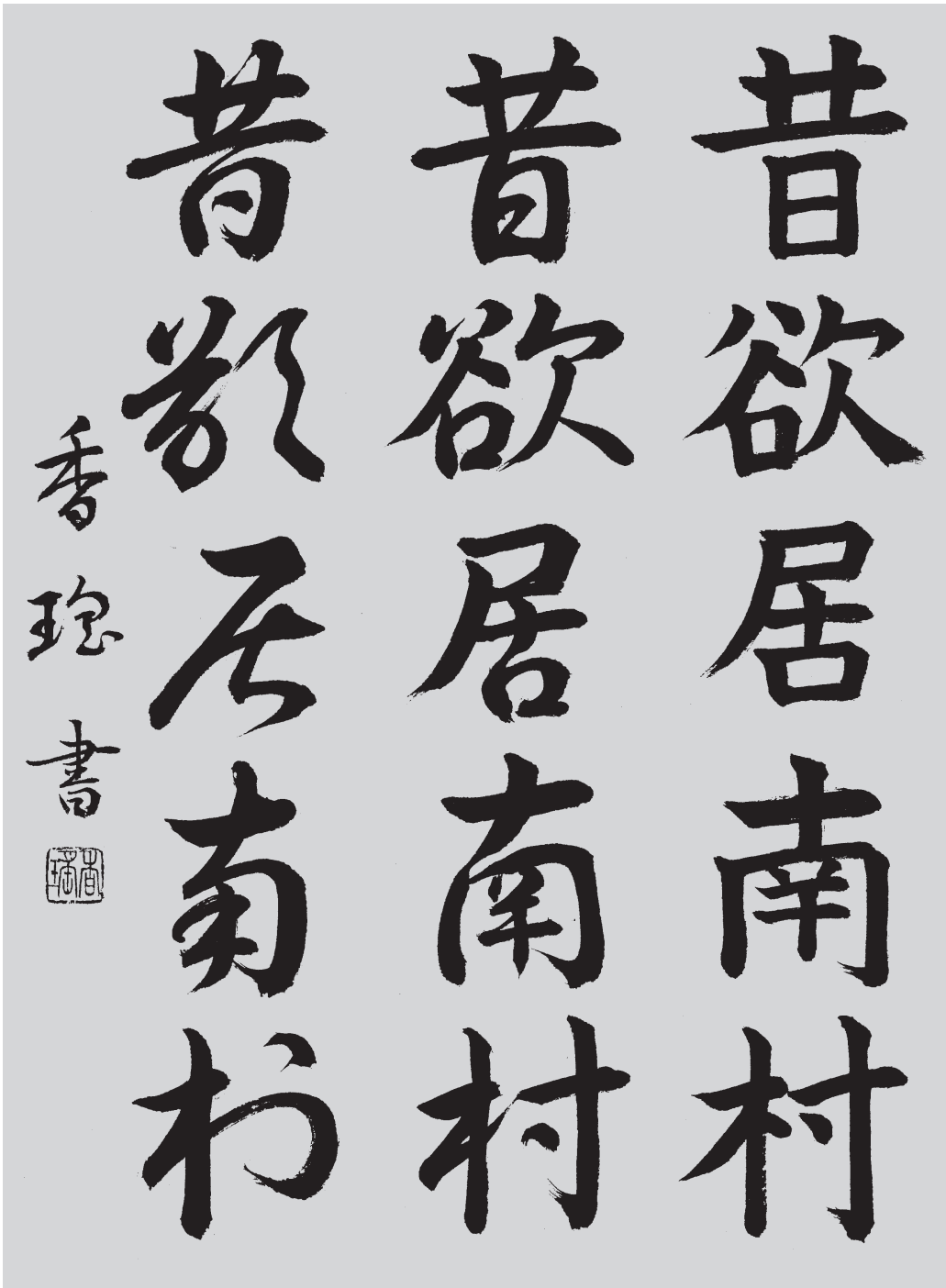
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



内藤香瑠先生書

昔欲居南村（陶淵明）  
昔<sup>むかし</sup>南<sup>なん</sup>村<sup>そん</sup>に居<sup>お</sup>らんと欲<sup>ほつ</sup>す。



訳：むかし、南村に住みたいと思った。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円。

随 意 部 参 考

路川千嘩先生書

夜永道氣熟、秋清人意強（馬治）  
夜永く道氣熟し、秋清く人意強し。

夜永道氣熟、秋清人意強  
秋清人意強

千嘩書



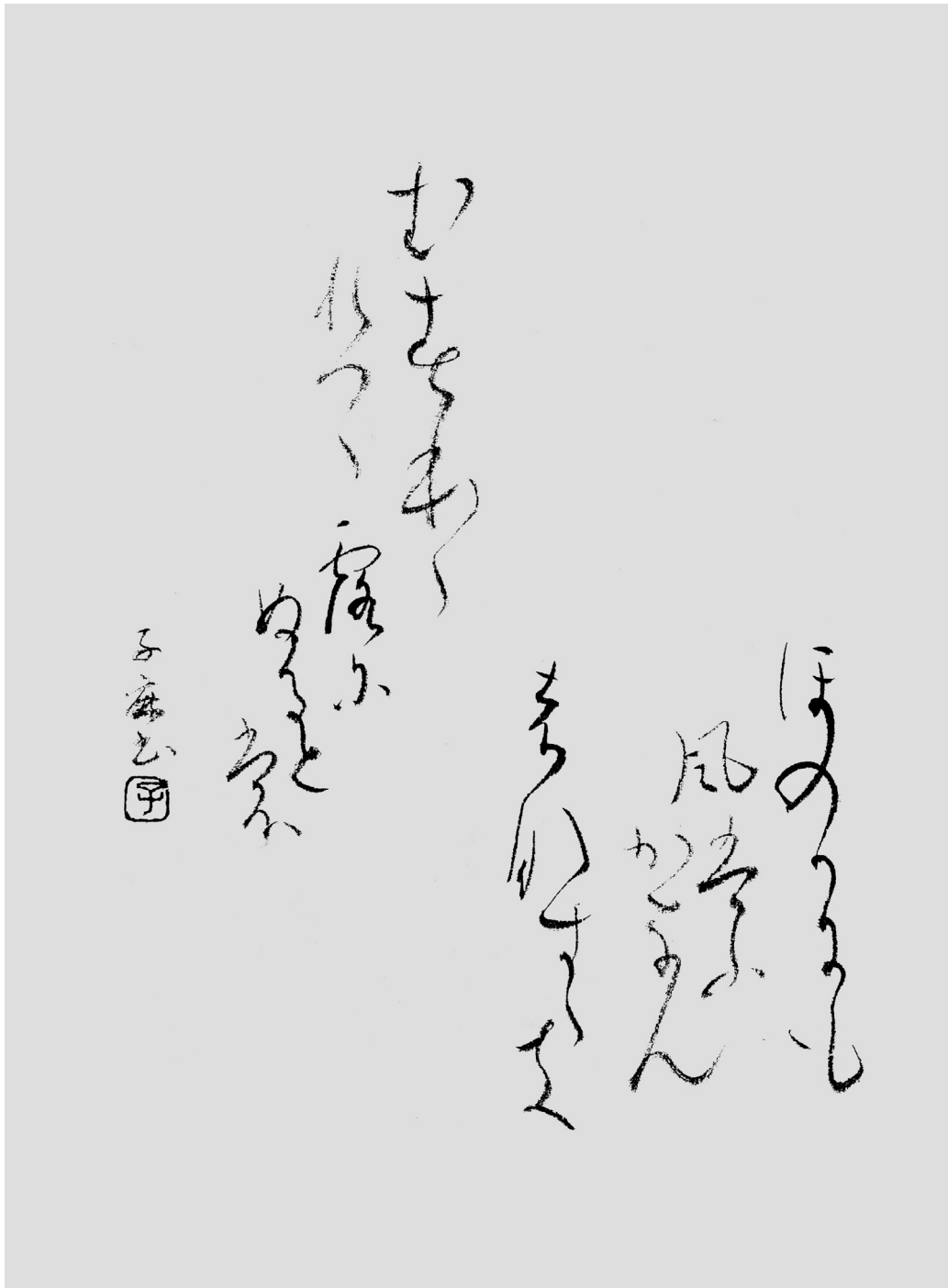
訳：秋の夜は永くして道術の気はいよいよ熟し、秋は清くして人の清意は強くなる。

1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は460円

随 意 部 参 考

林 子麻先生書

ほのかにも風はふかなん花すゝきむすぼほれつゝ露にぬるとも  
 新古今和歌集  
 女御徽子女王



1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は460円

湯澤春翠先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

濃い緑に包まれた林道を薄い霧が  
流れる。思わず大きく息を吸う。体の  
すみずみまで洗われる気がした。

林道が途切れ、鹿の足跡を追うよう  
にスキをかきわけて森に入る。下草  
が消え、落ち葉を敷きつめた柔ら  
かい地面にケモノ道がつづいていた。

課題1 (初段階以上)

林道が途切れ、鹿の足跡を追うよう  
にスキをかきわけて森に入る。下  
草が消え、落ち葉を敷きつめた柔ら  
かい地面にケモノ道がつづいていた。  
「百年前の山を旅する」服部文祥

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題2 (初段階以下)

濃い緑に包まれた林道を薄い霧が  
流れる。思わず大きく息を吸う。体  
のすみずみまで洗われる気がした。  
「かながわ100選私の散歩道」

朝日新聞横浜支局編